

- 第20号 -

平成21年10月28日発行

ちく せい  
**筑西**

# 市議会だより

編集 筑西市議会広報特別委員会 / 発行 筑西市議会



中館のコスモス（国道294号から）

## 目次

議案説明.....	2ページ
決算特別委員会の審査.....	3ページ
陳情・請願・意見書.....	3ページ
議決一覧表.....	4ページ
議案質疑.....	5～6ページ
一般質問.....	7～11ページ
議会日誌.....	12ページ
編集後記.....	12ページ

## ■主な内容■

**平成21年第3回定例会**

～平成20年度決算など

23案件を審議～

平成21年第3回定例会は、9月2日から9月16日までの15日間の会期で開催されました。

今定例会では、平成20年度決算を中心に一般会計補正予算案や条例案など23案件について慎重に審議されました。

平成21年第3回定例会  
議案説明

今定例会に上程された議案は次のとおりです。

議案第59号は、下館地区における小貝川築堤改良に伴う起点・終点の変更による17路線の廃止、激特事業・土地改良整備による25路線の廃止、計42路線を廃止するものです。

議案第60号は、下館地区における小貝川築堤改良に伴う起点・終点の変更による17路線の認定、国土交通省からの道路移管による2路線の認定、激特事業・土地改良整備による30路線の認定、合計49路線を認定するものです。議案第61号は、健康保険法施行令の一部改正に伴い、平成21年10月1日から平成23年3月31日までの間の出産に係る出産育児一時金について、35万円から39万円に引き上げる改正を行うものです。

議案第62号は、一般会計の補正予算で、歳入歳出にそれぞれ4億8,976万余円を追加し、総額をそれぞれ361億4,548万余円とするものです。

主なものは、歳入の地域活性化・経済危機対策臨時交付金、歳出においては、関城支所空調設備改修の1,146万円、住宅手当緊急特別措置事業の1,500万円、子育て応援特別手当の1億603万円、道路維持補修に6,000万円の増額、小学校体育館耐震補強に2億1,284万余円の増額などです。

議案第63号は、国民健康保険特別会計補正予算で、主なものは、後期高齢者支援負担金の確定に伴う増額です。議案第64号は、老人保健特別会計補正予算で、主なものは、一般会計繰出金の増額です。議案第65号は、後期高齢者医療特別会計補正予算で、主なものは、後期高齢者医療広域連合納付金や、一般会計繰出金の増額です。

議案第66号は、農業集落排水事業特別会計補正予算で、主なものは、農業集落排水施設維持管理経費の増額です。議案第67号は、下館結城都市計画事業八丁台土地区画整理事業特別会計補正予算で、主なものは、建設事業負担金の増額です。

議案第68号は、介護保険特別会計補正予算で、主なものは、介

護給付費準備基金積立金の増額です。

議案第69号は、水道事業会計補正予算で、主なものは、八丁台土地区画整理事業及び県営圃場整備関連配水管布設工事の増額です。

議案第70号は、一般会計の補正予算で、歳入歳出にそれぞれ9,375万余円を追加し、総額を362億3,923万余円とするものです。主なものは、関城体育館屋根改修の7,875万円、道路改良の1,200万円です。

認定第1号は、平成20年度一般会計及び特別会計の決算を認定するものです。認定第2号は、平成20年度水道事業会計の決算を認定するものです。認定第3号は、平成20年度病院事業会計の決算を認定するものです。



請願・陳情について

請願書・陳情書は邦文で、願いの要旨、提出年月日、請願・陳情者の住所、氏名（法人や団体等の場合はその名称と代表者名）及び紹介議員（陳情書には不要）を記載し、押印されたものを議長あてに提出することになっていきます。

なお、請願書・陳情書はいつでも議会事務局で受け付けをしています。が、定例会ごとに締め切り日がありますので、事前に議会事務局までお問い合わせください。

24・2111（内線372）

表紙

に関する請願書 (陳情書)

紹介議員 (陳情書の場合、紹介議員は必要ありません)

本文

に関する請願 (陳情) 【要旨】

○年○月○日 提出者 (代表者) 氏名  
筑西市議会 議長 様

## 決算特別委員会の 審査から

決算特別委員会は、9月11日、14日の2日間開かれ、平成20年度の一般会計、特別会計及び企業会計における決算を審査し、これら決算はいずれも認定すべきものと決しました。また、16日の本会議においても、原案のとおり認定されました。

委員会での主な審査の内容は次のとおりです。

秘書事務費、市長ほつとライン及び広聴事業費等について  
職員研修経費、職員健康管理経費、行政改革推進経費、契約検査関係経費等について  
実質収支比率、経常収支比率が上昇した理由、男女共同参画経費、公共交通対策経費、総合振興計画推進費等について  
市税の収納及び不納欠損の状況、差押えの件数、所得階層別の滞納状況及び納税相談等について  
基礎年金経費、戸籍住民基本台帳費、産業廃棄物関係経費、交通安全指導推進事業等について  
生活習慣病予防対策事業、特定健康診査等事業について

国民健康保険事業における国保税の徴収率及びこれに伴う資格証明書交付について  
国特別保育事業（病後児保育事業）、高齢者等の生活支援事業（愛の定期便事業）について  
観光振興事業、商工業振興事業、農業振興関係事務費、林業振興一般事務費、霞ヶ浦用水建設推進費等について  
農業集落排水事業における使用料の収入状況、滞納状況及びその対策、排水管のメンテナンス等について  
農業者年金受託事業について  
一本松・茂田線整備事業、道路維持補修事業、市営住宅維持管理経費、スピカビル公共施設管理経費、下館都市開発（株）の決算状況等について  
八丁台土地区画整理事業における事業費の総額、事業の最終年度、進捗状況、残事業の内容等について  
駐車場事業における下館駅前駐車場及び駅東駐車場の収支状況  
土地賃貸契約等について  
公共下水道事業における各地区の加入率や受益者負担金の収入状況等について  
県西広域水道用水供給事業の契約水量、配水量と有収水量との

関係、地下水の取水制限等について  
給食費の滞納、ランドセル配布事業、明野・協和幼稚園における送迎バス委託料、小中学校建設事業でのトイレ改修、教育相談室運営事業等について  
市民病院における委託料、人件費比率、生産性等について

### 【決算特別委員会委員】

須藤 茂	尾木 恵子
増淵 慎治	吉原 一利
百目鬼 晋	内田 哲男
水越 照子	外山 壽彦
加茂 幸恵	新井 利平
山口 明	關 四郎
三浦 讓	
（委員長）	（副委員長）

## 陳 情

次の陳情は、9月定例会までに受け付けたものです。なお、継続審査になっていた陳情第7号は、関係常任委員会において慎重に審査を行い、9月16日の本会議で次のとおり議決されました。

陳情第7号 暮らしと地域を壊す「地方分権改革」に反対し、国の責任として「国民の安全・

安心を守る行政」を求める陳情（不採択）

陳情第10号 川島小学校通学路における歩道整備に関する陳情

## 請 願

継続審査になっていた請願第3号及び今定例会に上程された請願3件は、関係常任委員会において慎重に審査を行い、9月16日の本会議で次のとおり議決されました。

請願第3号 介護保険に関する請願（継続審査）  
請願第5号 教育予算の拡充を求める請願（採択）  
請願第6号 「公立」のままです筑西市市民病院の存続と充実を求める請願（継続審査）  
請願第7号 政府がみずから決めた備蓄ルールに基づいて、20万トン規模の政府米買い入れを求める請願（継続審査）

## 意 見 書

議員提出による意見書案1件は、9月16日の本会議において原案のとおり可決されました。この意見書は、同日付で政府及び関係機関に送付されました。

教育予算の拡充を求める意見書

## 平成21年第3回臨時会議決一覧表

事件の番号	件名	議決月日	議決結果
報告第13号	処分事件報告について(和解に関する事及び損害賠償の額を定めることについて)	7.16	承認
議案第57号	工事請負契約の締結について	7.16	原案可決
議案第58号	平成21年度筑西市一般会計補正予算(第4号)	7.16	原案可決

## 平成21年第3回定例会議決一覧表

事件の番号	件名	議決月日	議決結果
報告第14号	処分事件報告について(筑西市営住宅明渡し請求等の訴訟の和解について)	9.2	承認
報告第15号	処分事件報告について(筑西市営住宅明渡し請求等の訴訟の和解について)	9.2	承認
議案第59号	市道路線の廃止について	9.16	原案可決
議案第60号	市道路線の認定について	9.16	原案可決
議案第61号	筑西市国民健康保険条例の一部改正について	9.16	原案可決
議案第62号	平成21年度筑西市一般会計補正予算(第5号)	9.16	原案可決
議案第63号	平成21年度筑西市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	9.16	原案可決
議案第64号	平成21年度筑西市老人保健特別会計補正予算(第2号)	9.16	原案可決
議案第65号	平成21年度筑西市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	9.16	原案可決
議案第66号	平成21年度筑西市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	9.16	原案可決
議案第67号	平成21年度筑西市下館結城都市計画事業八丁台土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	9.16	原案可決
議案第68号	平成21年度筑西市介護保険特別会計補正予算(第1号)	9.16	原案可決
議案第69号	平成21年度筑西市水道事業会計補正予算(第1号)	9.16	原案可決
議案第70号	平成21年度筑西市一般会計補正予算(第6号)	9.16	原案可決
認定第1号	平成20年度筑西市一般会計及び特別会計決算認定について	9.16	原案認定
認定第2号	平成20年度筑西市水道事業会計決算認定について	9.16	原案認定
認定第3号	平成20年度筑西市病院事業会計の決算認定について	9.16	原案認定
請願第3号	介護保険に関する請願	9.16	継続審査
請願第5号	教育予算の拡充を求める請願	9.16	採択
請願第6号	「公立」のままで筑西市民病院の存続と充実を求める請願	9.16	継続審査
請願第7号	政府がみずから決めた備蓄ルールに基づいて、20万トン規模の政府米買い入れを求める請願	9.16	継続審査
陳情第7号	暮らしと地域を壊す「地方分権改革」に反対し、国の責任として「国民の安全・安心を守る行政」を求める陳情	9.16	不採択
議員提出議案第8号	教育予算の拡充を求める意見書(案)の提出について	9.16	原案可決

# 議案質疑

全議案に対する質疑は、9月9日に行われ、4人の議員が14項目に及ぶ質疑をしました。

その主なものは次のとおりです。

## 国保税滞納増加に値上げが与えた影響は

【質疑】国保税は平成20年度に平均28%値上げされ、滞納者も増加している。増加の原因は値上げによるものなのか。年度別の滞納者及び滞納額の推移は。

【税務部長】平成21年6月22日現在の状況は、滞納世帯4,428世帯、滞納額15億9,150万円。19年度と比較し、世帯数で2.3%の増、滞納額で1億8,170万円、12.9%の増である。また、所得階層別滞納者数は、200万円未満が79.5%。国保税に限らず、税の徴収率は景気に連動する傾向にある。

【質疑】対前年度比較で、1億9,000万円、率で12.9%増加し、滞納者の8割は所得200万円以下の低所得者。いくら値上げしても滞納はふえる。逆に値下げをす

れば滞納額の減少になり財政も良くなる。値下げは考えられないか。

【市長】国保税の税率について、今後慎重に検討していきたい。

【質疑】国保税の調定額に対する収納率の見込みは。

【健康増進部長】18年度の所得により試算。調定額40億1,797万余円、収納率は90%の36億1,617万余円を見込んだ。

【質疑】値上げによる増収見込額は。

【健康増進部長】約1億円である。

【質疑】19年度と20年度を比較すると、現年度課税分の収入未済額が約1億円増加しているの、国保税値上げ分1億円は相殺されていると思われるが。

【健康増進部長】ご指摘のとおりである。

【質疑】保険制度の維持に関して、健康増進部長は、受益者負担が原則との考えだが、再度の値上げがあるのか。

【健康増進部長】基本的には国民健康保険制度は現行法で運営されている以上、制度を維持していく使命があるのでご理解賜りたい。

【質疑】国民健康保険制度を保険税の値上げだけで維持していくことは極めて難しい状況にあると思うが、市長の考えを尋ねたい。

【市長】現実をよく把握し、調査研究の上、最善策を見出したいと思っている。(一問一答方式)

【健康増進部長】基本的には国民健康保険制度は現行法で運営されている以上、制度を維持していく使命があるのでご理解賜りたい。

【質疑】国民健康保険制度を保険税の値上げだけで維持していくことは極めて難しい状況にあると思うが、市長の考えを尋ねたい。

【市長】現実をよく把握し、調査研究の上、最善策を見出したいと思っている。(一問一答方式)



## 今年度の決算評価の方法は

【質疑】決算の成果説明書からは具体的な成果が読み取れない。どのような評価をされたのか。

【企画部長】財政運営上は、計画された各事業がおおむね完了し、歳入歳出の実質収支で20億円の繰越が生じている。しかし、財政健全化計画の特別会計や企業会計への繰出金、補助金を削減するという目標は達せられなかった。

【質疑】主要施策の成果説明書について、内部での評価が行われたのか。

【企画部長】前年度の評価方法に加え、施策評価を行った。前期基本計画に掲げた57施策を評価し、拡充を図る施策、現状のまま継続する施策、再構築が必要な施策、縮小を図る施策に分類し、22年度の実施計画策定に当たることとした。

【質疑】4つのパターンで評価したことはわかるが、補助金や扶助費についての評価は。

【企画部長】扶助費については、国の施策に関連して増加している。また、補助金については、補助金等検討委員会で市単独補助を見直した効果はあるが、広域事務組合への分賦金や市民病院への補助金の改善が必要である。

【質疑】行政改革について、行政改革大綱や財政健全化計画から見た評価をせざるを得ないが、市民の視点に立った評価も大切。市民の視点に立った評価はできないか。

【企画部長】今後の行政運営に当たっては、市民との情報の共有化が必要。新たに市の施策実施方針を策定しており、今後、施策評価については、市民に公表していきたい。

【質疑】決算について、市民の目線からの評価ができないか。  
 【市長】企画部長の答弁のとおり財政の健全化からの評価が一番と思いが、今後、あわせて、市民の目線からの評価も重要視したい。

(一問一答方式)



平成20年度決算書

### 体育館耐震補強工事の方法と年度末の耐震化率は

【質疑】Is値0.3未満の5校の小学校体育館の耐震補強の方法は。  
 【教育次長】上野小学校の体育館は、屋根の天井部と壁面のブレース(筋交い)部分の鉄骨の取りかえ及び筋交い部分の増設を行うとともに、主要なはりや柱の接合部分の補強工事として方杖を新設する。また、伊讚、養蚕、五所、河間小学校の体育館についても、上野小学校と同様の補強工事である。なお、伊讚、養蚕、五所、河間小学校の体育館については、雨漏り

に悩まされていることから、屋根の改修等も実施したい。

【質疑】平成21年度末で耐震化診断率は100%、耐震化率は39.4%との答弁が6月議会であった。今回1億7,799万6千円の補正が計上されているが、年度末の耐震化率は何%になるのか。

【教育次長】今回の補正予算を計上した小学校5校の体育館耐震補強工事が完了すれば、体育館が30%から55%に、校舎は38.5%から40.4%に、小学校全体では36.1%から44.4%になる。中学校合わせると44%となる。

(一問一答方式)



伊讚小学校体育館

### 医師確保の結果と今後の対応は

【質疑】市民病院の再建には医師の確保とビジョンを示すことが必要だが、新市長の今後の医師確保

の方針は。

【市長】今後の市民病院のビジョンとして、この地域の2次救急医療の確立を考えている。そのためにも、医師確保に最善を尽くしてまいりたい。

【質疑】医師確保に最善を尽くすとの答弁であるが、具体的な方策は。

【市長】医師確保については鋭意努力する所存であるのでご理解賜りたい。

(一問一答方式)

### 契約水量と必要水量の現状と見直しは

【質疑】契約水量と必要水量について、19年度決算での使用量は契約の42.5%。今年度はどのくらい使用されたのか。また、契約水量の見直しは。

【答弁】【上下水道部長】契約水量は県西広域水道事業に係る水道用水の需給に関する契約書により締結。市全体で一日最大給水量1万2千 $m^3$ 、また、必要水量は20年度実績値で一日平均給水量2万4,742 $m^3$ 、県水の一日本均受水量は6,447 $m^3$ 、割合は54%。契約水量は一日最大の給水量の契約であり、一日最大の受水量は9,679 $m^3$ 、割合は81%である。水道事業者は最も給水が必要とされる時期に備えて、水の安定供給を図る体制を整えることが責務であるため、契約水量の見直しは考えていないのでご理解賜りたい。

【質疑】監査委員の報告では、一般会計から市民病院や広域事務組合への繰出金が多いため財政が圧迫されるとのことであるが、どのように考えるのか。また、次年度の予算編成に当たり今年度の決算をどう生かしていくのか。

### 特別会計への繰出金が多いとの指摘にどう対処するのか

【答弁】【企画部長】昨年度まで事務事業評価を実施してきたが、今年度から施策評価も行い、市施策実施方針を決定。これに伴い実施計画の作成や予算編成を行う。このような流れの中で、問題・課題等を解決しながら、行財政運営に当たっていききたいのでご理解を賜りたい。

(総括方式)



五行川水管橋

# 一 般 質 問

市政全般の問題をただす一般質問は、9月4日、7日、8日に行われ、12人の議員が76項目に及び質問をしました。その主なものは次のとおりです。

## 市民会館の今後の活用方針は

### 質問

【増淵議員】市民会館は、筑西市において唯一、

000名以上の収容人数を誇る大ホールを有し、また、下館駅から徒歩5分、駐車場も完備と非常に条件が良い。しかし、築後45年を経過し老朽化が目立ってきている。そこで、3点ほど伺いたい。市民会館の利用回数と利用人数について、今後、どのような役割を考えているのか、また、そのための建てかえや改築の予定があるのか。市民会館のトイレについては非常に評判が悪い。特に、高齢者の皆さんから利用しづらいとの苦情を良く聞く。全体の改修が望ましいが、早急にトイレの改修だけでも行っているかどうか。

### 答弁

【総務部長】平成21年度8月末までで、利用件

数139回、利用人数1万5,677人、20年度は利用件数361回、利用人数3万250人となっている。市民会館は昭和39年11月に市民文化の振興、向上を図ることを目的に設立以降、その役割、目的を十分に果たしてきたが、近年、建物、設備、機能等の老朽化が著しい。今後、建てかえや大がかりな改築等が必要となってくるが、現在の市の財政状況等からは難しい。市民会館を



市民会館

今後とも今までのように利用していくためには早急に改修する必要があり、厳しい財政状況でもあり、市民会館の今後のあり方も含めて、十分検討してまいりたい。

## 市民病院と県西総合病院の統合について

### 質問

【鈴木議員】筑西市民病院も含め、全国の公立病院は

8割が赤字経営で、大変厳しい状況にある中、国では地域医療再生基金として、3,100億円を計上、全国から94力所が採択される計画である。茨城県では北茨城市と筑西市、桜川市が申請するようだ。県の指導により「筑西・桜川地域における医療提供体制のあり方検討会議」が立ち上げられたと聞く。筑西市民病院、県西総合病院、協和中央病院をそのままの形で残しつつ、救命センターも兼ねた総合医療センターの建設が一番望ましいと考えるが、この検討会議では病院再編・ネットワーク化がどのように進められていくのか尋ねたい。

【市長】筑西地域の医療機能は非常に低水準であり、この検討会議は医療体制充実のため広域的な病院の再編・ネットワーク化を図る

ものである。現段階では協議のテーブルについたところであり、今後検討を重ねてまいりたい。広域的医療提供体制の整備とともに、市民病院の経営健全化のため慎重なる検討を重ねてまいる所存であるのでご理解賜りたい。

【市民病院事務部長】県は地域医療体制の充実を図るため「筑西・桜川地域における医療提供体制のあり方検討会議」を設置した。これは筑西市民病院、県西総合病院に協和中央病院等の民間医療機関も含めた広域的な再編・ネットワーク化の事業である。今後も県の指導を受けながら、関係機関と十分に協議をしてまいりたい。

## ドクターヘリ導入の検討を

### 質問

【須藤議員】ドクターヘリは、救急専用の医療器具を



市民病院

装備したヘリコプターに救急医療の専門医や看護師を搭乗させ、救急現場にて救急医療を行うものである。このドクターヘリにより、医師による速やかな救急医療の開始、高度な医療機関への迅速な収容によりクモ膜下出血や心筋梗塞への迅速な対応がなされることになる。日本では、16都道府県で18機が導入されており、茨城県でも、平成22年度の導入が決定し、茨城町の水戸医療センターと水戸市の水戸済生会病院を基地として運行し、県全域をおおむね30分でカバーできるようになる。本市においても、つくば記念病院や自治医科大学と連携し、導入を検討できないか。

**【答弁】**

【市民病院事務部長】救急医療用ヘリコプター、いわゆるドクターヘリは医師が速やかに救急現場に出勤し、救急医療を提供することにより、搬送時間の短縮のみならず、患者の救命率の向上や後遺症の軽減に大きな成果がある。茨城県も平成20年度からドクターヘリ導入検討委員会を立ち上げ、導入に対する課題を検討してきた。結果、本年6月にドクターヘリ導入に関する意見が取りまとめられ、県民に均質な救急医療を提供するため、県央地区の

2病院と連携し、運行することになったものである。ドクターヘリ導入は規模が非常に大きなものであり、本市だけで対応できるものではないが、今後、専門の先生方からもアドバイスをいただきながら検討してまいりたい。



ドクターヘリ

**消防団の活動環境の整備を**

**【質問】**

【秋山議員】消防団の活動環境の整備について伺う。消防団員の皆様には24時間体制で大変お世話になっており、崇高なボランティア精神と常々敬服しているが、消防ポンプ車庫兼詰所にはトイレが整備されていないと聞く。常識では到底考えられないことであり、今すぐにもトイレの設置をすべきと考えるが、現在の設置状況と今後の整備計画を尋ねたい。さらに、20年以上も使われている消防ポンプ車があるというが、とうとう市民の生命、財産

を守る上からも計画的な更新が必要である。予算措置や計画性についても尋ねたい。

**【答弁】**

【総務部長】当市の消防団は43分団で構成されており、各分団にポンプ車と車庫が整備されている。トイレを設置してあるのは8カ所の分団であり、今後、詰所が未設置の5カ所を含め、老朽化した車庫の建てかえにあわせて詰所やトイレを整備する予定である。既存の車庫へのトイレのみの整備は、敷地や建屋、合併浄化槽の設置、排水路の問題等があるため、現況調査を行い実情を把握し、努力してまいりたい。20年を経過した消防ポンプ車の更新については、年次計画により更新を図っているが、厳しい財政状況により平成19年度からは凍結しているのが現状である。ポンプ車は消防団員により毎月定期的に車両点検を行い、消防活動に支障がないように整備を図り万全を期している。



消防車庫

市でも水圧ポンプのオーバーホールを検討している。今後も財政状況を考慮しながら、消防ポンプ車の計画的な更新を進めてまいりたい。

**川島地区の国道50号と通学路の整備について**

**【質問】**

【藤川議員】川島地区内の国道50号拡幅用地は20年も前に買収されてそのままになっている。一部買収された残りも宅地並み課税になっており、税金の負担がかなり重くなっているという。国土交通省の管轄の違いで工事の進捗に差があっては住民に不公平感が残る。この先どのように対応するのか。また、川島小学校と下館西中学校の通学路は歩道がなく、車の通行量が多いため非常に危険である。通学路整備の要望も出ているが、地権者との話し合いの状況と今後の見通しについて伺う。

**【答弁】**

【市長】川島地区の通学路については難航していた地権者との協議が整い、今年度中に整備をする計画になっているのでご理解賜りたい。  
【土木部長】江連用水から玉戸地先までの国道50号下館バイパスは国土交通省常陸河川国道事務所管轄であり、用地買収・工事が遅れ

ているため拡幅工事に入れない状況だが、9月下旬までには江連用水にかかる橋の地質調査が発注になると伺っている。江連用水から主要地方道結城下妻線までの結城バイパスは宇都宮国道事務所の管轄で、現在新川島橋の耐震補強工事中であり、引き続き4車線化整備を進めると伺っている。市としても各方面に要望活動を実施してまいりたい。また、ご指摘の通学路は大変危険な状況であり、子供たちの安全を考えると早急な歩道整備が必要であると認識している。8月26日に関係者から境界の同意をいただいたので、9月補正に計上し、今年度中には整備を完了する予定である。



川島地区通学路

## ランドセル配布について

### 質問

【三浦議員】旧明野町で始まったランドセルの配布事業を、合併してからは筑西市全域に広げたが、値段は半分の約7千

円にってしまった。形も随分違ったものになり、使用率が非常に下がってしまった。21年度入学児童の場合、下館地区では3人に1人しか希望者がいない状況で、崩壊状態である。桜川市では1万3,500円のもので使用率はほぼ100%だと聞く。同じく合併した隣の市で、どうしてこうも違うのか、市長にはぜひ再考していただきたい。算数セットを希望の選択肢に入れたり、商品券にしたりすると、制度がなし崩し的になくなり、保護者の負担がふえて子育て支援に反するのではないか。予算を増額して型を以前のものに戻すべきと考えるがいかがか。

### 答弁

【教育次長】ランドセルの希望調査は毎年就学時の健康診断のときに行っており、本年度も同様の予定である。昨年度は51%の配布率であった。この事業には、今までに多数の意見をいただき、昨年度は算数セットを選択

できることとしたが、一方、ランドセルの配布事業にはそぐわないという意見もあり、本年度は3千円のランドセル購入補助に替えたものである。当市のランドセルは本革よりも軽く、水に強い素材で、雨にも安心で廉価な合成皮革を使用している。本革製にするに

は、更なる財源の確保が必要であり、現段階では難しいと思われる。【市長】本事業の一番の目的は全児童が同じものを使うということで、希望しない方には少額の補助をすることに決定させていただいたのでご理解賜りたい。



ランドセル

## 女性検診への取り組みについて

### 質問

【尾木議員】女性検診の受診率は約10%と非常に低い状況にある。今回、乳がん、子宮頸がんの無料検診のクーポン券と検診手帳が配布されたことも受診率向上のきっかけになると思うが、更なる受診率の向上には、やはり個別通知と受診環境の整備が欠かせない。前議会では、財政的に個別通知は難しいとのことであったが、地域活性化・経済危機対策臨時交付金の活用を図ることはできないのか。また、受診率向上には、目標を立てて取り組む必要がある

が、市ではどのように考えているかを伺いたい。

### 答弁

【健康増進部長】がん検診への理解を深める検診手帳と無料クーポン券を8月26日までに配布し、広報紙にも掲載した。また、平日に受診できない方の利便性を図るため、土日の実施に向けて茨城県総合検診協会と協議を進めるなど、受診率向上を図っている。受診率の目標は、最終的には国で示している50%であり、本市でも近づけるよう努力してまいりたい。

【企画部長】今回の無料クーポン券の配布は、女性特有のがん検診推進事業による国の補正予算で補助事業が創設されたものである。地域活性化・経済危機対策臨時交付金では新規事業が対象であるため、既に成人病検診事業の中で取り組んでいる女性検診の個別通知には充当できないと考えるのでご理解いただきたい。



検診手帳・無料クーポン券

## 市民病院の経営形態について

### 質問

【内田議員】 市民病院の経営形態を、地域医療再生

基金を利用することを選択肢の一つとして考えていると理解しているのか。「筑西・桜川地域における医療提供体制のあり方検討会議」では、筑西市民病院、県西総合病院、協和中央病院の3つの再編・ネットワーク化という県の考えも視野に入れて協議されているのか。再編・ネットワーク化プランを選択した場合、新病院建設の問題が出てくる。5年間で建設されるまでの期間、市民病院は現在のままの公設公営の地方公営企業法一部適用という経営形態ではなく、少なくとも全部適用に変えるべきではないか。

### 答弁

【市長】 国の地域医療再生事業は、広域的視野を持って地域医療の提供体制を整備しようとするものである。筑西市民病院も地域医療に大きな責任があるという立場から、県の指導を受けながら桜川市との協議を始めたところである。今後の運営の方向性を定めるための一つの選択肢として含めており、協議の結果を見てから最終的な方針を定めたい。

【市民病院事務部長】 この事業は平成21年度から25年度と5年間の期間はあるが、市長にはなるべく短い期間でできる内容の検討をお願いしてある。期間内での病院建設については、最終的に実施設計を完了して着工することで事業を認められるという内容になっているが、県でも両市の協議を進めて、早急に基本構想を作り上げるべく会議を進めている。



市民病院

## 地域の憩いの場である公園の憩いの管理徹底を

### 質問

【真次議員】 市内の公園には、出入口に段差があり、車いすの方や、お年寄りの方が安心して利用できない場所がある。スロープをつけてほしいとの声もあるが、バリアフリーの対応を考えられないか。ベンチが老朽化したものが多く危険である。早急な修繕ができないか。また、雑草が伸びていて、きちんと管理されていない公園もあるが、どのような対応を行っているのか。

市内の公園の数と管理体制について伺いたい。

### 答弁

【土木部長】 古く小規模な公園においては、車いすでの利用が困難な場所がある。今後、既存の公園についても関係部署と協議して改善に努めてまいりたい。ベンチについては、昨年度の安全点検に基づき、13公園の18基を交換し、3公園の8基を修繕する。今後もベンチばかりではなく、公園施設の安全性に留意しながら管理してまいりたい。なお、除草作業については街区公園は地元の自治会等に最低年3回の条件で、またそれ以外は筑西市シルバー人材センターへ委託契約をしており、その都度報告を受けている。今後の除草の時期については各団体と協議してまいりたい。

市内の公園数は、県西総合公園を含めて127カ所ある。県営公園である県西総合公園の管理者は筑西広域市町村圏事務組合であるが、市の公園についてはスポーツ施設



下岡崎近隣公園

を含む公園は教育長、それ以外は市長が管理者となる。【市長】 公園のバリアフリー化については、現場をよく見て、担当と検討してまいりたい。

## ナシ農家の育成について

### 質問

【加茂議員】 茨城県は全国2位、筑西市は県内トップ

のナシの生産量を誇る。ナシの大産地として一層の生産者育成が必要と考えるが、黒星病による減収や高齢化のための後継者問題が大きな課題となっている。市では特産品であるナシを守るためどのような対策を取っているか。また、県外、首都圏へのPRが消費拡大には大切と考えるが、どのような施策を講じているのか伺いたい。

### 答弁

【市長】 本市は、作付面積351haを誇る赤ナシ

の大産地であり、京浜地方に約7,000トン出荷し、算出額は21億8,000万円と県内1位である。茨城県の銘柄産地として昭和60年から指定を受け、生産量の拡大、品質の向上に努めてきた。後継者問題はナシ農家に限らず、地域の農業振興を図る上で非常に重要な課題であり、県や関係機関と連携し取り組んでいきたい。ま

た、8月には、茨城県知事や茨城新聞社への宣伝や、NHK水戸放送局番組でのPRを行ってきたところである。

【経済部長】黒星病の防除には耕作放棄地の防止が必要であり、生産者、JA北つくばと連携し、放棄地の解消に努めている。また、後継者問題は本市農業全体の課題であるが、4Hクラブの活動支援や、農業後継者縁組対策委員会に対応している。現在、本市と関係機関で筑西市担い手育成総合支援協議会を設置し、農業後継者となる新規就農者等への支援を行っているところである。



ナシの収穫作業

## 市民病院のベクトル (方向性)は

### 質問

【百目鬼議員】当市は筑西市市民病院と県西総合病院の2つの病院を抱えており、毎日200万円以上の税金が消えている計算になる。病院の機能を果た

していない状態での負担は問題ではないか。市民病院の課題は、医師確保の問題と異常に高い人件費割合であり、解決策として、県西総合病院で進めている独立行政法人化も一つの方法である。国の地域医療再生基金は凍結の可能性もあり、交付はかなり困難である。

県の主導で筑西・桜川地域の医療再編・ネットワーク化が検討される中、当市も桜川市との連携により、独立行政法人化を進めることも視野に入れてはどうか。プロジェクトチームをつくって市民病院の方向性をきちんと示し、22年3月には改革プランを提示願いたい。市長の考えをお聞きしたい。

### 答弁

【市長】「筑西・桜川地域における医療提供体制のあり方検討会議」が設置され、当地域の広域的な医療再編・ネットワーク化を検討し、診療科目の再編や医師の確保・医療スタッフの充実を目指して、病院の再生が可能かどうか、国の地域医療再生基金の活用を検討しているところである。政権交代により、さきの内閣での経済対策の未執行部分が凍結、返還の方針が出されたが、緊急性・必要性のある事業については考慮するとされている。この地域の2つの医療をきちんと確保しながら、

財政負担も抑えるよう、引き続き関係機関と協議を重ねてまいりたい。



県西総合病院

## 平成22年度からの関城・明野・協和地区の都市計画税は

### 質問

【外山議員】「サービスは高いほうへ」という理念のもとで誕生した筑西市であるが、法定合併協議会の方針では22年度からの旧3町への都市計画税の課税が決定されており、課税する場合には税率について都市計画事業の動向を勘案し、検討するとされている。この税金は目的税であるから、旧3町の都市計画が決定されているのか、また、都市計画税は導入されるか、導入された場合の税率はどれくらいか、以上3点について尋ねたい。決定する上でどのような議論がされるかについても伺いたい。

### 答弁

【市長】都市計画税は、都市計画マスタープランに基

づく事業を計画的に実施するための重要な財源であり、旧3町の用途地域内についても計画に位置づけられた都市的な整備水準の確保が求められていることから、課税が必要と考える。税率については現在検討中であるのでご理解賜りたい。

【税務部長】都市計画税は、合併協定書・都市計画税条例により規定されている。現在は旧下館市内の市街化区域に指定された地域の土地・家屋の所有者に課税をしており、旧3町には特例により課税をしていない。しかし、不均一課税の適用期間が本年度までとなっており、22年度からは筑西市全域の市街化区域に同じ税率で課税し、固定資産税とあわせて納税していただくことになる。本年3月に策定された都市計画マスタープランに基づく市街地整備を推進するため、庁内の関係部署と都市計画事業・財源等について協議をしている。税率についても、財政シミュレーションをもとに最低限必要な額を念頭に検討を進めているので、ご理解いただきたい。



# 議 会 日 誌

## 7月

29日 第4回県西総合病院組合議会定例会

## 8月

28日 議会運営委員会

## 9月

2日～16日

筑西市議会第3回定例会

25日 広報特別委員会

## 10月

7日 友好都市岡山県高梁市議会親善訪問来市

8日 茨城県西市議会議長会臨時会

13日 茨城県市議会議長会理事会

14日 広報特別委員会

20日 第2回下妻地方広域事務組合議会定例会

28日 第2回筑西広域組合議会定例会

## 友好都市岡山県高梁市議会 親善訪問来市

去る10月7日から8日にかけて友好都市である岡山県高梁市の市議会議員一行11名が来市されました。  
まず、下館藩主水谷家歴代墓所である定林寺で墓参りをされ、続いて、しもだて美術館・板谷波山記念館の視察をした後、市長や市議会代表と交歓会を行い、両市の親睦を深めました。

### 【友好都市】(岡山県高梁市)

高梁市と旧下館市は、江戸時代に下館城の第八代目城主水谷勝隆公が備中松山城主(現在の高梁市)へと国替えになった歴史的な背景を縁に、昭和54年10月に友好都市の締結を行った。その後、市町村合併により「筑西市」と「高梁市」が誕生したことにより平成19年1月に再締結した。

## 市議会傍聴

議会の傍聴は、筑西市役所庁舎4階で開催当日に受け付けています。傍聴については、

受付時間は午前8時30分～  
傍聴の予約はできません。

傍聴席は48席です。

今回の第3回定例会では、133人の方が議場で傍聴されました。

## 編集後記



地震による被害が相次いでいる昨今、筑西市においても避難場所となる小中学校の体育館の補強工事が急がれています。建物の耐震性能を判断する方法にIs値という数値があります。国土交通省ではIs値0.6以上、文部科学省では0.7以上(学校施設については避難場所としての役割を担っているため)を目安としています。今議会に上程された補正予算で、上野小学校を初めとする5校の体育館補強工事が実施されます。市内27の小中学校の年度末での補強状況は、校舎も含めて44%、体育館

では54.3%、平成27年度で全校の工事が完了する予定です。

### 【広報特別委員会】

委員長	増 淵 慎 治
副委員長	吉 原 一 利
委 員	真 次 洋 行
委 員	金 澤 良 司
委 員	水 越 照 子
委 員	水 柿 一 俊
委 員	加 茂 幸 恵
委 員	榎 戸 甲 子 夫
委 員	藤 川 寧 子

筑西市議会事務局

筑西市下中山732・1

☎24・2111(内372)

あなたも傍聴してみませんか

次の定例会は  
11月30日

に開会の予定です。

本会議は10時からです。議会の放映は、市役所本庁舎1階エントランスホールと4階議場前ホールでご覧になれます。